



市の木 ラカンマキ

とうがね 議会だより

第143号 平成22年5月1日 発行
発行 東金市議会
〒283-8511
東金市東岩崎1番地1
電話 0475 (50) 1181
発行人 東金市議会議長 石渡 徹男

新議員決まる



前嶋里奈 議員

欠員となっていた市議会議員の補欠選挙が4月18日に行われ、新議員が決まりました。



八鶴湖の桜

平成22年第1回 東金市議会臨時会

地方独立行政法人 東金九十九里地域医療センター 定款の制定など5議案を可決

平成22年第1回東金市議会臨時会が、去る1月29日に開かれました。この臨時会には、市長提出の議案5件が提出され、すべて可決されました。

市長提出議案

◆第1号議案

東金市特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター」の設立に伴い、東金市及び九十九里町が共同設置する地方独立行政法人評価委員会の委員の報酬を定めるためのもの。
(原案可決・賛成多数)

◆第2号議案

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター定款の制定について

東金九十九里地域医療センターの運営主体である「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター」を設立するため、その定款を制定しようとするもの
(原案可決・賛成多数)

◆第3号議案

地方独立行政法人東金九十九里地

域医療センター評価委員会共同設置規約の制定に関する協議について

「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター」の設立に伴い、設立団体である東金市及び九十九里町において附属機関として地方独立行政法人評価委員会を共同設置するため、規約を定め、関係地方公共団体と協議しようとするもの
(原案可決・賛成多数)

◆第4号議案

千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

組合立国保成東病院及び鴨川市南房総市環境衛生組合が平成22年3月31日に解散することに伴い、組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約の改正及び組合規約の改正に関する規約の制定について、関係地方公共団体と協議しようとするもの。

するもの。
(原案可決・賛成多数)
421万1千円としようとするもの。公債費負担の軽減対策として、公的資金補償金免除繰上償還を実施し、低利な市債へ借換えを行うとするもので、歳入で市債7,510万円を増額、歳出で公債費7,516万4千円を増額。
(原案可決・賛成多数)

平成22年度東金市一般会計予算など 18議案を可決

平成22年第1回東金市議会定例会は、2月26日から3月18日までの21日間の会期で開かれました。本定例会では、市長提出の議案18件と議員提出の発議案2件が提出され、すべて可決されました。また、上程された陳情1件は採択となりました。市政に関する一般質問には、各党派から代表質問に4名、個人質問に5名が質問席に立ち、地域医療、産業振興、福祉・教育行政や重点施策など幅広い課題について活発な議論が行われました。

平成22年第1回 東金市議会定例会

市長提出議案

◆第1号議案

東金市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

「東金市職員の給与に関する条例等」の一部を改正する条例が平成22年4月1日から施行されることに伴い、育児短時間勤務をする職員に係る対応について必要な事項を定めるためのもの。
(原案可決・全員賛成)

◆第2号議案

市道路線の認定及び変更について

市道として2路線を認定し、2路線について路線の変更をしようとするもの。新たに市道として認定する路線は、広域農道の整備に伴う1路線と都市計画法第40条第2項の規定により帰属された1路線。変更となる路線は、広域農道のルート変更

◆第3号議案

平成21年度東金市一般会計補正予算(第9号)について

既定の予算額から歳入歳出それぞれ1,569万2千円を減額し、予算の総額を188億9,011万1千円としようとするもの。主な内容は、歳入で国庫支出金2億

※お知らせ

公職選挙法では、議員等は「選挙区内にある者に対し、いかなる名義をもってするを問わず、寄附をしてはならない。」とされていることから、東金市議会では、虚礼廃止を徹底すべく申し合わせています。

◆第5号議案
平成21年度東金市老人保健特別会計補正予算(第2号)について
既定の予算額から歳入歳出それぞれ90万1千円を減額し、予算の総額を1,762万1千円とし、主要内容は、歳入で一般会計からの繰入金1,483万5千円を減額、医療給付費返納金488万7千円を増額、歳出で医療諸費1,484万5千円を減額。
(原案可決・賛成多数)

◆第6号議案
平成21年度東金市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について
既定の予算額から歳入歳出それぞれ47万3千円を減額し、予算の総額を4億2,955万5千円とし、主要内容は、歳入で保険料428万8千円を増額、一般会計からの繰入金900万1千円を減額、歳出で後期高齢者医療広域連合納付金471万3千円を減額。
(原案可決・賛成多数)

◆第7号議案
平成21年度東金市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について
既定の予算額に歳入歳出それぞれ7,080万6千円を増額し、予算の総額を29億2,469万7千円とし、主要内容は、歳入で国庫支出金2,488万5千円、支払基金交付金2,154万1千円、繰入金2,279万5千円を増額、歳出で保険給付費7,276万5千円を増額。
(原案可決・賛成多数)

◆第8号議案
平成21年度東金市下水道事業特別会計補正予算(第5号)について
既定の予算額から歳入歳出それぞれ300万円を減額し、予算の総額を17億2,121万1千円とし、主要内容は、歳入で繰入金300万円を減額、歳出で事業費267万7千円を減額。
(原案可決・賛成多数)

◆第9号議案
平成21年度東金市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について
既定の予算額から歳入歳出それぞれ213万2千円を減額し、予算の総額を4億71万8千円とし、主要内容は、歳入で分相金及び負担金480万円を増額、繰入金700万円を減額、歳出で事業費216万8千円を減額。
(原案可決・賛成多数)

◆第10号議案
平成22年度東金市一般会計予算について
予算の総額を17億4,000万円とし、さらに債務負担行為、地方債の内容等について定めようとするもの。予算総額は、前年度に比べ6,000万円の増額、0.3%の増率。(本年度当初予算の概要については、広報5月1日号ををご覧ください。)
(原案可決・賛成多数)

◆第11号議案
平成22年度東金市国民健康保険事業特別会計予算について
予算の総額を64億6,930万円と定めようとするもので、前年度に比べ1億7,855万3千円の増額、2.8%の増率。主要内容は、歳入で国民健康保険税20億5,841万7千円、国庫支出金17億2,607万1千円、療養給付費等交付金2億3,996万7千円、前期高齢者交付金8億5,978万7千円、県支出金3億763万7千円、共同事業交付金7億1,693万3千円、繰入金5億4,762万7千円、歳出で保険給付費42億8,223万9千円、後期高齢者支援金等8億6,729万9千円、介護納付金4億5,752万2千円、共同事業拠出金7億7,946万3千円、保健事業費7,164万7千円。
(原案可決・賛成多数)

◆第12号議案
平成22年度東金市老人保健特別会計予算について
予算の総額を1,076万3千円と定めようとするもので、前年度に比べ1,482万円の減額、57.9%の減率。主要内容は、歳入で国庫支出金122万8千円、繰越金789万7千円、諸収入101万3千円、歳出で医療諸費381万2千円。なお、本会計は75歳以上の被保険者が後期高齢者医療制度へ移行したことに伴い、一部清算業務を一般会計に残し平成22年度で終了。
(原案可決・賛成多数)

◆第13号議案
平成22年度東金市後期高齢者医療特別会計予算について
予算の総額を4億7,787万9千円と定めようとするもので、前年度に比べ7,844万円の増額、0.1%の増率。主要内容は、歳入で保険料3億5,140万円、繰入金1億2,005万4千円、歳出で総務費3,537万円、後期高齢者医療広域連合納付金4億3,690万4千円。
(原案可決・賛成多数)

◆第14号議案
平成22年度東金市介護保険事業特別会計予算について
予算の総額を29億2,810万円と定めようとするもので、前年度に比べ1億3,710万円の増額、4.9%の増率。主要内容は、歳入で保険料5億3,170万円、国庫支出金6億4,562万円、支払基金交付金8億2,007万6千円、県支出金4億5,947万7千円、繰入金5億2,464万6千円、歳出で総務費1億3,434万円、保険給付費27億2,485万1千円、地域支援事業費6,284万5千円。
(原案可決・賛成多数)

◆第15号議案
平成22年度東金市下水道事業特別会計予算について
予算の総額を16億6,303万9千円とし、さらに地方債の内容等について定めようとするもの。予算総額は、前年度に比べ233万7千円の増額、0.1%の増率。主要内容は、歳入で使用料及び手数料3億9,822万9千円、国庫支出金2億1,395万円、繰入金5億5,657万7千円、繰越金1,000万円、市債4億8,200万円、歳出で事業費7億1,618万8千円、公債費9億5,532万2千円。
(原案可決・賛成多数)

◆第16号議案
平成22年度東金市農業集落排水事業特別会計予算について
予算の総額を2億7,916万9千円と定めようとするもので、前年度に比べ1億3,840万7千円の減額、33.1%の減率。主要内容は、歳入で使用料及び手数料3,966万7千円、繰入金2億2,700万円、繰越金1,000万円、歳出で事業費8,661万5千円、公債費1億8,785万4千円。
(原案可決・全員賛成)

◆第17号議案
平成22年度山武郡市予防接種健康被害調査特別会計予算について
予算の総額を14万9千円と定めようとするもの。主要内容は、収入で製品売上12億3,900万円、支出で売上原価6億4,862万4千円、供給販売費及び一般管理費3億9,822万5千円。
(原案可決・賛成多数)

◆第18号議案
平成22年度東金市ガス事業会計予算について
平成22年度の業務予定量を年度末供給戸数1万3,900戸、年間供給ガス量1,499万9千立方メートルと定め、予算第3条の収益的収入及び支出の予定額について、収入を12億9,166万9千円、支出を11億6,155万8千円と定めようとするもの。主要内容は、収入で製品売上12億3,900万円、支出で売上原価6億4,862万4千円、供給販売費及び一般管理費3億9,822万5千円。
(原案可決・賛成多数)

◆第19号議案
平成22年度東金市介護保険事業特別会計予算について
予算の総額を29億2,810万円と定めようとするもので、前年度に比べ1億3,710万円の増額、4.9%の増率。主要内容は、歳入で保険料5億3,170万円、国庫支出金6億4,562万円、支払基金交付金8億2,007万6千円、県支出金4億5,947万7千円、繰入金5億2,464万6千円、歳出で総務費1億3,434万円、保険給付費27億2,485万1千円、地域支援事業費6,284万5千円。
(原案可決・賛成多数)

◆第20号議案
平成22年度東金市国民健康保険事業特別会計予算について
予算の総額を64億6,930万円と定めようとするもので、前年度に比べ1億7,855万3千円の増額、2.8%の増率。主要内容は、歳入で国民健康保険税20億5,841万7千円、国庫支出金17億2,607万1千円、療養給付費等交付金2億3,996万7千円、前期高齢者交付金8億5,978万7千円、県支出金3億763万7千円、共同事業交付金7億1,693万3千円、繰入金5億4,762万7千円、歳出で保険給付費42億8,223万9千円、後期高齢者支援金等8億6,729万9千円、介護納付金4億5,752万2千円、共同事業拠出金7億7,946万3千円、保健事業費7,164万7千円。
(原案可決・賛成多数)

◆第21号議案
平成21年度東金市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について
既定の予算額に歳入歳出それぞれ7,080万6千円を増額し、予算の総額を29億2,469万7千円とし、主要内容は、歳入で国庫支出金2,488万5千円、支払基金交付金2,154万1千円、繰入金2,279万5千円を増額、歳出で保険給付費7,276万5千円を増額。
(原案可決・賛成多数)

◆第22号議案
平成21年度東金市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について
既定の予算額から歳入歳出それぞれ90万1千円を減額し、予算の総額を1,762万1千円とし、主要内容は、歳入で一般会計からの繰入金1,483万5千円を減額、医療給付費返納金488万7千円を増額、歳出で医療諸費1,484万5千円を減額。
(原案可決・賛成多数)

発議案

◆発議案第1号
永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書について
(原案可決・賛成多数)

◆発議案第2号
食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正を求め、意見書について
(原案可決・全員賛成)

陳情

☆陳情第9号
食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める陳情
(採択)

市政に関する一般質問

地域医療

問 地域医療と救急医療の整備について
(陵志会 渡邊直樹)

市長は、この地域内で圏域外への救急搬送が40%を超えている現状が東金九十九里地域医療センターの開設の一番の理由であるとして、

答 東金九十九里地域医療センター立ち上げまでの4年間の医療の対応については、成東病院に救急のベッドに対する枠外の補助を行って、少なくともその期間はお願いたして、急医療はどうなるのか、医療部門、健康福祉部門において十分な協議がなされているか、東金病院の現状をすぐによくすることは、不可能な状態であり、やはりこの東金九十九里地域医療センターを

平成22年第1回(3月)東金市議会定例会に通告された一般質問の項目

Table with 3 columns: 要旨 (Main Points), 会派 (Party), 状況 (Status). It lists various questions from council members regarding municipal administration, healthcare, and education.

会派状況は平成21年12月24日現在

着実に、きちんとスケジュールどおりにつくりに上げていくことが第一である。

問 東金九十九里地域医療センターについて (清風会 六角敏文) 東金九十九里地域医療センターの開設は、将来に禍根を残さないように慎重な検証や財政計画が必要であり、市民の理解と支援がなければ成り立たない。

答 医師確保については、東金九十九里地域医療センター内(仮称)千葉大学医学部附属病院九十九里地域臨床教育センターを併設することに関し、千葉大学全学で意思決定をいただいたところである。

問 地域における医療の現状・ニーズ・在り方について (社会民主党 水口剛) 市当局から、東金市の死亡者の中で60%が生活習慣病との報告があった。重症化を防ぐ予防、健康福祉を第一に考えるべきではないか。

答 医療全体の需要として、慢性期ニーズも当然高いわけだが、重篤患者の受け皿がこの地域にはないというところが一番の課題であり、生活習慣病から重症化してしまうことも

この地域の一つの特色である。健康増進課において、保健師及び管理栄養士が生活習慣の改善を目的とした運動や栄養面での指導を実施し、血圧、脂質、血糖の項目が医療を要する数値に達している受診勧奨の方に対しては、医療機関への受診を積極的に促し、重症化への移行を未然に防ぎ、医療費の抑制を図りたい。

問 千葉国体に係る市の対応について (蒼政会 大野政廣) 今年度は千葉県でゆめランティアは約150名の協力が得られるよう募集を進めており、

現在136名の応募と電話での問い合わせ等があり、この確保はできる見通しである。平成22年度は国体の本番の年であり、職員体制の充実も検討しているが、より多くの市民の協力を得て準備・運営体制に万全を期して、東金市を訪れる選手、応援の皆さんをお迎えたいと考えている。

問 広域公共交通の整備について (陸志会 渡邊直樹) 3月1日より豊成地区で交通手段の確保対策として、福岡地区に次いで市内2例目の循環バスが試行運行されるが、今後の市全域の運行計画はどのように進められているのか。

答 福岡地区及び豊成地区の循環バスの運行開始により、平成12年度にまとめた市内循環バス基礎調査報告書で示された交通不便地区の解消は一応の段階を迎えたことになる。今後の公共交通体系の維持・確保には、民間バス、タクシー等との連携・協力を前提にした取り組みが基本と考

一般行政

市長の市政方針

市役所1階ロビーで本会議をご覧いただけます。現在、議会で中継放映の試行として、市役所庁舎内に限って議場の中継放映を行っています。市役所1階のロビーに設置されたテレビで、本会議の様子をご覧いただくことができます。

な現状と高齢化社会の進展という新たな状況も踏まえて、公共交通のあり方、市民の足の確保について、東金市地域公共交通会議に諮り、今後の基本的な方向をまとめた。

福祉・教育

問 ワクチンについて

(公明党 中丸悦子) 私たち公明党は、かねてよりワクチンの重要性について議会において主張してきた。様々なワクチンがあり、その中高齢者の肺炎を予防する肺炎球菌ワクチンがある。かぜの症状で大したことではないと思っていれば肺炎にかかっており、重症になる、また最悪手遅れとなるケースがある。この肺炎球菌ワクチンについて、平成22年度の予算に計上されているが、どのような取り組みをするのか伺いたい。

答 新たに肺炎球菌ワクチンの接種助成費を平成22年度予算案に計上し上程したが、この事業は、高齢者の肺炎による死亡が多いことから、その予防に有効な肺炎球菌ワクチンの接種に対し、費用の一部を助成するものである。現在実施に向けて助成方法の検討を行っており、あわせて医療機関との調整が必要と考えている。事務的

な準備の終了後、周知期間をとり、早い時期に開始する予定である。なお、助成内容は75歳以上を対象とし、1人当たり1回に限り2千円の助成をしたいと考えている。

問 次世代育成支援行動計画について

(無名の会 伊藤博幸) 次世代育成支援対策推進法に基づき、地域で支える子育ての取り組みをより具体的に推進するための計画として、東金市次世代育成支援行動計画の前期行動計画が策定され、様々な子育て支援の施策が行われてきた。その進捗状況をかんがみて必要な見直しを行い、平成22年度からの後期の計画の策定が行われているが、前期の計画を検証した上で、後期行動計画の重点的な取り組みについて伺いたい。

答 次世代育成支援行動計画の前期行動計画では、ファミリー・サポート・センター事業、児童虐待防止ネットワークの強化、母子自立支援員設置などの重点的な取り組みを実施してきた。後期行動計画では、個別の重点的取り組みについての記載はないが、新規に予定している病後児保育事業や、子どもの安全を守る環境の整備について充実させており、その他の事業につ

いても毎年見直すことにより、計画に掲げている基本目標の充実を図っていくことを重点に取り組んでいくことになっている。

問 学校給食について

(陵志会 渡邊直樹) 昨年度、文教厚生常任委員会に所属し、市内小中学校の給食について現場の声を聞くため、委員の方々と実際に各学校の給食を試食したところ、地産地消ブームと食育の必要性が叫ばれる中、学校給食のスタイルを考え、地域農業も子どもも元気になる取り組みを考えている栄養士が見受けられた。食材の調達やコスト面で大変な点もあると思うが、各校における仕入れ先や調達方法などについて伺いたい。

答 調味料、乾物や缶詰など日持ちするものは共同購入により大量に仕入れるため、大手4事業者からの見積もり合わせにより購入する。加工品も地元では難しいため、この4事業者から見積もりを徴して、各学校ごとに購入している。主食については、米は学校給食会を通してJA山武から、パン・麺は学校給食会が小麦粉を地元の加工業者に納入し、加工されたものが納入される。野菜などの生鮮食品は、基本的に地元

の青果業者8社からそれぞれ購入する。

問 学校現場の諸問題について

(清風会 宍倉敏文) 民主党は教育改革の大きな柱として、学校理事会の導入を主張し、公立の小中学校を保護者、地域住民、学校関係者、教育専門家等が参画する学校理事会が運営することによって、保護者と学校と地域の信頼関係が深まることとしている。学校理事会が設置されると、教員の採用や教科書の選定など、学校運営に関するすべての権限を持つことになると思われるが、現状について伺いたい。

答 学校理事会を核として、学校の基本方針、教育課程や人事管理について教育改革を進めていく動きは、平成12年の教育改革国民会議で初めて現れ、平成17年に17校、平成20年に342校で、その大部分は文部科学省が研究的に委嘱している。この理事会の取り組みは、今の法律の中では機能せず、形だけになっているのが現状である。教育改革、地方分権としていろいろ試行錯誤している中、一つの例で、時期尚早と考えている。また法的にもほとんど整備されていないので、今後、注意深く見守ってきたい。

問 保育所・小中学校の給食調理業務委託について

(日本共産党 前田京子) 第1保育所では、平成19年度から給食調理業務を民間委託しているが、調理以外の業務を行うことは職業安定法で禁止している派遣労働にあたる。食育指導については、先の議会で見直すとのことであったが、どのように見直したのか。また、乳児は体調の変化に応じて、献立に変更が生じる場合があるが、委託先の調理員への指示について伺いたい。同様に小中学校でも調理業務を民間委託しているが、委託先への調理の指示についてあわせて伺いたい。

答 保育所での乳児の体調に合わせた調理については病後児食で対応し、その指示は担当保育士より調理員へ口頭で伝えている。食育指導については、保育所の保育指針において調理員の役割として食育の実践等と示されているので、今後お願いしていく。また、小中学校では、職業安定法の規定により、前日に調理の指示書で栄養士と委託先が打ち合わせを行い、調理現場で栄養士が直接指示することはできない。

問 市内観光施設の整備について

(着政会 大野政廣) 数年前から千葉県では観光立県ちばを掲げ、県の発展を目指しており、現知事もその考えを引き継ぎ、PRに努力している。本市の中にも全国的に誇れる場所や事業等があると思うが、本市の観光資源について伺いたい。

答 本市の観光資源の中で特に代表的なものとして、まず歴史的背景を持ち、自然景観としての八鶴湖と雄蛇ヶ池があり、県の自然公園に指定されている。この水辺、山王台公園からの展望、また日吉神社に至る切り通しと杉並木は、この地域ならではの景観として誇り得るものであると思う。また、桜まつりややっさまつり、観月会やウオーキング大会などのイベントも、多くの方々に東金市を訪れていただくきっかけとして大切なものと考えている。観光ぶどう園は県下最大規模を誇っており、その他にも様々な収穫体験ができる施設や農園があり、自然の景観とイベントや体験要素を組み合わせたパッケージ創出が今後の東金観光にとって大切なものになると考えている。

問 農業振興と行政改革による農業予算の減少について

(陵志会 渡邊直樹) 2年前に行われた行政改革の一環である組織改編により、旧農政課と旧商工観光課を一体化して産業振興課とし、所管事業においても農道、排水路を建設課へ移管した。それにより旧農政課の所管する事業費が減額になっていいると思われるが、実態はどうであるのか伺いたい。

答 産業振興課が所管する農業部門の平成22年度予算案の減額は、平成20年度に全額国庫補助の事業、平成21年度に緊急雇用創出事業の活用があったため、実質的には事業費の減少はない。また、建設課が所管する農業部門については、県の主体事業である広域営農団地農道整備事業の事業量減少や国の補助事業である土地改良施設の維持管理適正化事業の工事費補助が平成23年度以降となつたこと、国の緊急経済対策により平成21年度予算が増額補正されていることにより平成22年度予算案は減額となっている。事業費の減額は国・県の事業や国の施策に伴うものである。

問 豊成地区にある旧飛行場跡について

(保守系無党派 戸田英夫) 豊成の8地区にまたがる東金飛行場跡地については、昭和19年にアメリカの九十九里浜上陸を迎撃するために旧日本帝国陸軍が強制的に買収し、建設した施設の跡が今でも残っている。現在、この地域一帯は農振農用地に指定されており、優良農地として市が認定しているが、市はこの地域をどのように認識しているのか伺いたい。

答 豊成地区にある飛行場跡の農地は、集団的に存在する農地であるため東金市農業振興地域整備計画に定める農用地区域に設定されており、最も多く畑面積を保有する地区として、地質・気象に適合する植木、花類生産と併合して、路地・施設野菜等の生産団地の育成を推進する地区として方向づけをしている。また本地域は、作田川及び高倉川流域に位置し、水田としての農業条件にも恵まれており、農業施策の効用が十分に発揮されるよう、農業振興地域整備計画を管理して、多面的機能を持つ優良農地として保全する地域と認識している。

問 平成22年度の事業計画及び目標について(ガス事業)

(東金市ガス 齊藤範吉) ガス事業は企業経営で、民間の経営手法や組織運営手法を導入し、経営の健全化を進めるための具体的な数値目標を持っていると期待している。かつて本市が導入・展開して

いたISOマネジメントシステムは、今も組織運営の根幹として働き続けていると確信しているが、トップマネジメントである市長の目標設定と事業計画への反映について伺いたい。

答 ガス事業においても、計画、予算から実施決算、評価、改善によるPDCAサイクルを回すことを目指して、年度ごとに作成する東金市実施計画に反映している。その中で、組織の使命を廉価で安全かつ安定供給を行うこととし、需要家の獲得、経年管の布設替えや供給施設の安全管理に努めるという目標を立てている。今後、公営と民営のどちらがよいか、議員の方々と、そして市民とも一緒に考えて結論を出していく中で、事業計画、目標も当然それに合わせた形で見直しを図っていく。

建設・経済

問 市内観光施設の整備について

(着政会 大野政廣) 数年前から千葉県では観光立県ちばを掲げ、県の発展を目指しており、現知事もその考えを引き継ぎ、PRに努力している。本市の中にも全国的に誇れる場所や事業等があると思うが、本市の観光資源について伺いたい。

問 農業振興と行政改革による農業予算の減少について

問 豊成地区にある旧飛行場跡について

問 平成22年度の事業計画及び目標について(ガス事業)

平成22年度 議会編集委員会	
委員長	布 施
副委員長	水 口
委員	佐竹 真知子
	石田 敬文
	大野 政廣

※ 紙面の都合上、代表質問、個人質問の一部について要旨を掲載しています。詳細については、図書館・中央公民館及び市役所情報公開コーナーにて「会議録」の閲覧、または、東金市ホームページより会議録検索システムでご覧ください。(6月上旬発刊・掲載予定)
会議録検索のホームページアドレス <http://www.city.togane.chiba.jp/gikaikaigiroku/>